

まちがと

幸田の新たな一面を発見！

幸田発見ウォーク<9/26>

第5回幸田発見ウォークが、幸田中央公園を発着点に、町南部をめぐる約13.1kmのコースで行われました。参加者は56人で、秋の訪れを感じながら、ウォーキングを楽しみました。ゆっくり歩くことで、車で走るだけでは気付かない、三河地震の被害の大きさを目で確認できる深溝断層など幸田の新たな一面を発見することができました。



消防団魂を披露！

消防団観閲式<9/26>

平成22年度消防団観閲式が防災広場で行なわれました。中隊訓練、小隊訓練、階梯操法、ポンプ車操法、小型ポンプ操法、放水訓練、分列行進などが行われ、日頃の訓練成果を披露しました。また消防団員の表彰や消防団家族への感謝状が授与されました。当日は、今から51年前の9月26日伊勢湾台風で受けた町内外の被害状況や消防団が当時大活躍した活動なども紹介されました。



▲消防団員を観閲する町長



▲伝統ある階梯操法を披露する第1分団

筆柿の季節です！

COP10関連 秋の里山観察会<9/26>

10月、名古屋で生物多様性条約の会議が開催されました。ミツバチによる受粉＝筆柿が甘くなる、これも生物多様性の恵みです。今年は猛暑が続き、昼夜の温度差が小さかったため、筆柿が熟すのも例年より遅いそうです。柿農家のご厚意により、出荷が始まったばかりの筆柿畑に入らせていただき、観察・収穫をし、実りの秋を感じた一日でした。



がんばらないけどあきらめない！

幸田町文化講演会<9/29>

「命を支えるということ」をテーマに、町民会館さくらホールで鎌田 實氏かまたみのるを招いて文化講演会が、910人の参加で開催されました。

鎌田氏は、パレスチナ、イラクなどの紛争地やチェルノブイリ原発被害地への国際医療支援活動の体験を通じて命の大切さについてユーモアを交えてお話しされ、来場者の皆さんは真剣に聞き入っていました。



身近な情報を広報へ

フランス生まれのスポーツです！

やろまいペタンク大会<10/2>

幸田中央公園で27チーム82人が参加して、第6回やろまいペタンク大会が開催されました。ペタンクは、目標に金属球を投げ合い、相手より近づけることを競うスポーツです。フランスでは老若男女に広く親しまれています。大会結果は次のとおりです。

優勝 岩堀南部Aチーム **準優勝** なかよし会
第3位 岩堀朋友会 **第4位** みのり



いますぐ やろまい ボランティア！

幸田福祉・ボランティアまつり<10/3>

第8回幸田福祉・ボランティアまつりが中央公民館で開催されました。手話や点字などの体験コーナーやステージでの活動発表などを通して、福祉団体やボランティア団体の日頃の活動を、来場者の皆さんに知っていただくことができました。

練習の成果を発揮！

町内の音楽団体が一同に会し、幸田町民会館で第11回ハピネス・ヒル音楽祭が開催されました。総勢240人が約3時間にわたり、子どもと大人が一緒になって結成した合同オーケストラの演奏をはじめとし、熱気あふれるステージが繰り広げられました。



幸田の特産品をPR

筆柿まつり<10/9・10・11>

10月9日から11日の3日間、道の駅「筆柿の里・幸田」で筆柿まつりが開催されました。9日はあいにくの雨でしたが10日、11日は天候にも恵まれ、たくさんのお客さまで賑わいました。11日には2,261人が参加したJRさわやかウォーキングの参加者も道の駅にお立ち寄りいただき、筆柿をはじめ地元の農産物を買求めるお客さまで大盛況でした。



フォトニュース

広報直通ダイヤル(63)5132
FAX(63)5139
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp